



蓮の花 Lotus Flower (お取り寄せ商品)

蓮根はすっかりおなじみの食材ではありますが、蓮の花というとまた違った趣で日本人の心にしっかりと根を下ろしているイメージがあります。仏像の台座に使われ、それは極楽浄土の形とも言われています。どうしても仏事にエピソードが集約されるために、どちらかというと日本では縁起の良くないようなイメージも付きがちです。しかしそれは大きな誤解でもあり、本来蓮の花はおめでたい花なのです。中国では長命のしるし、エジプトでも王の花、神の花として古代からもてはやされてきました。インドやスリランカでは、結婚式でも必ず飾られるほどです。古代エジプトでも神聖な花として崇められ、王の墓の装飾モチーフにも取り上げられています。雄弁なオシリス王に捧げられた花だったこともあり「雄弁」という花言葉もついたりともいわれています。昨年男の子の名前のランキングに「蓮」とかいて（れん）と読む名前が1位になっていました。泥水の中に咲く花だからこそ美しい…という仏法の教えに気持ちを寄せると、それはそれでまた神秘的であり、これから頑張って幸せな人生をという親心も見えてくるようです。なかなか普段身近に見られない美しい花であるがゆえに、美味しいものを食べながら、そこに幸せや気持ちのゆとりを感じる演出にもピッタリで、優しいピンク色の花弁は優雅さや気品をも感じさせます。スープをすくう蓮華（れんげ）は、蓮の花の花弁の形になぞらえてつけられたそうで、その流線型の美しさにお皿の上に舟を浮かべたような清涼感、蓮の花は今の季節を表す絶好のあしらいといえるでしょう。

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 24/June/2013/vol.252